

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価
施設評価シート

子育てセンターみゅうのおか

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和6年2月27日（火） 9:30～

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

ひとみかがやく子～自分が好き 友だちが好き あそびが好き～
自然の中で ころろが動く様々な体験を通して 一人ひとりが 生き生きと遊び 人との関わりの中で お互いの良さを認め合う

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

見つけたよ、ほくのひらめき わたしの遊び。じっくり楽しむ みんなで楽しむ。
職員が子どもの行動に注目し、会話やつぶやきに耳を傾けていく中で、一人ひとりの興味関心や探求心、心の動き等を丁寧を受け止めていきます。また、その様子を職員会議やカンファレンス・園内研修の中で情報共有し、子どもの気付きや興味関心が遊びに活かされるよう環境を整え、子ども達が自己実現や意思決定、協同していけるようなきっかけ作り、援助をしていきます。子どもたちの取り組みの様子やエピソードなどについては、園内での共有に加え、保護者に向けて情報発信を行い、子どもの学びへの意欲を園と家庭双方で支えていけるように働きかけていきます。食育活動に調理担当職員も参加し、子どもに向け食に関する興味や関心が持てる情報やきかけを提供したり、子どもの意見を取り入れた食育活動を計画・実施していきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	園評価 理由	関係者評価	関係者評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	年度初めに職員全体で理解を図り、意識して取り組んでいる。重点目標をもとに、指導計画を作成し、それに沿った教育・保育活動を行っている。	4	園の報告の内容からも、グランドデザイン・重点目標を意識した取り組みが行われているということが分かった。7つの活動のねらいについても、視覚的に分かりやすいパンフレットを作成しており、各年齢の発達・ねらいを理解したうえでの活動の実施に努めていることが伝わった。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	子どもの発達や五領域に沿った指導計画（年間計画・月案・週案・日案）を作成し、職員会議等で職員間の共通理解を図って実践をしている。振り返りも行っているが、その後の活動に活かされず連続性に欠け、課題が残る。	3	教育・保育活動の実践としては、指導計画をもとに職員間での共通理解を図りながら行われていると感じた。活動に対する目的意識の持たせ方を工夫出来るとよい。園が課題であると感じている“連続性”については、改善に努めて欲しい。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	一人ひとりの個性を認め、受け止めながら、丁寧な関わりを意識している。散歩やコーナー遊び等を行い、異年齢の関わりを深めている。その時の発達や興味・関心にあった環境の中で、様々な自然や物的環境に触れ、主体的に活動出来るようにしている。ボランティアによる絵本の読み聞かせや、近隣の学校の行事への参加、地域の店舗への買い物等を通して、地域への親しみを持つと共に、社会的なルールを知ったり、感謝の気持ちや憧れの気持ちを持つたりしている。	4	保育者や異年齢の友だちとの関わりを十分に楽しむことが出来ていると感じた。異年齢と一緒に生活する中で、小さい子への思いやりの気持ちを育むことが出来ている。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<p>行事や保育参加、懇談会等を通して、日々の子どもの姿や園の取り組みの様子を知っていただくことが出来ている。おまかせ保育システムを活用することで、園だよりやクラスだより、日々の活動内容等がこれまで以上に手軽に閲覧出来るようになった。</p>	4	<p>おまかせ保育システムを活用することで手軽に情報の閲覧ができるようになり、利便性は上がっている。その一方で、利用者アンケートでは「紙面の方がよい」というご意見も出ている。デジタルの利点を発信し、ペーパーレス化への理解を引き上げることを課題としてはどうか。</p>
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<p>親子ひろばについて、回覧板等で発信している。親子ひろばのブログを開設すると共に、チラシの配布場所を増やし、より多くの方に知っていただくことで、来園者数にも反映されている。また、講座の見直しを行い、地域の保護者がより気軽に参加出来るような環境を整えている。</p>	4	<p>地域での情報発信の範囲が拡大しており、昨年度の評価委員からの助言が活かされていた。地域の店舗にみゅうのおかのチラシが掲示されているのを見て、嬉しく感じた。コロナ禍が明け、親子ひろばの事業に力を入れていることが伝わった。</p>
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<p>様々な職種の職員が、それぞれの得意分野を教育・保育の中に活かしている。他職員を尊重する気持ちを持ち、互いに考えや思いを伝えやすい雰囲気づくりをしている。子どもの発達や興味・関心についてクラスカンファレンスや職員会議等で共有し、子どもの姿にあった環境作りに取り組んでいる。専門性を高める為には、職員一人ひとり、自ら学ぶ姿勢を持つことが課題である。また、教育・保育の場としてふさわしい園内環境の整備についても、今後の課題とする。</p>	3	<p>日頃から職員間のコミュニケーションを密にとっており、互いに尊重し合える良い雰囲気の中で業務に臨むことが出来ているということが分かった。職員の専門性の向上や環境面についての課題意識を園が持っている為、達成に向け努めて欲しい。</p>